

お兄ちゃん
どうしたの？
しょんぼり
しちゃって。

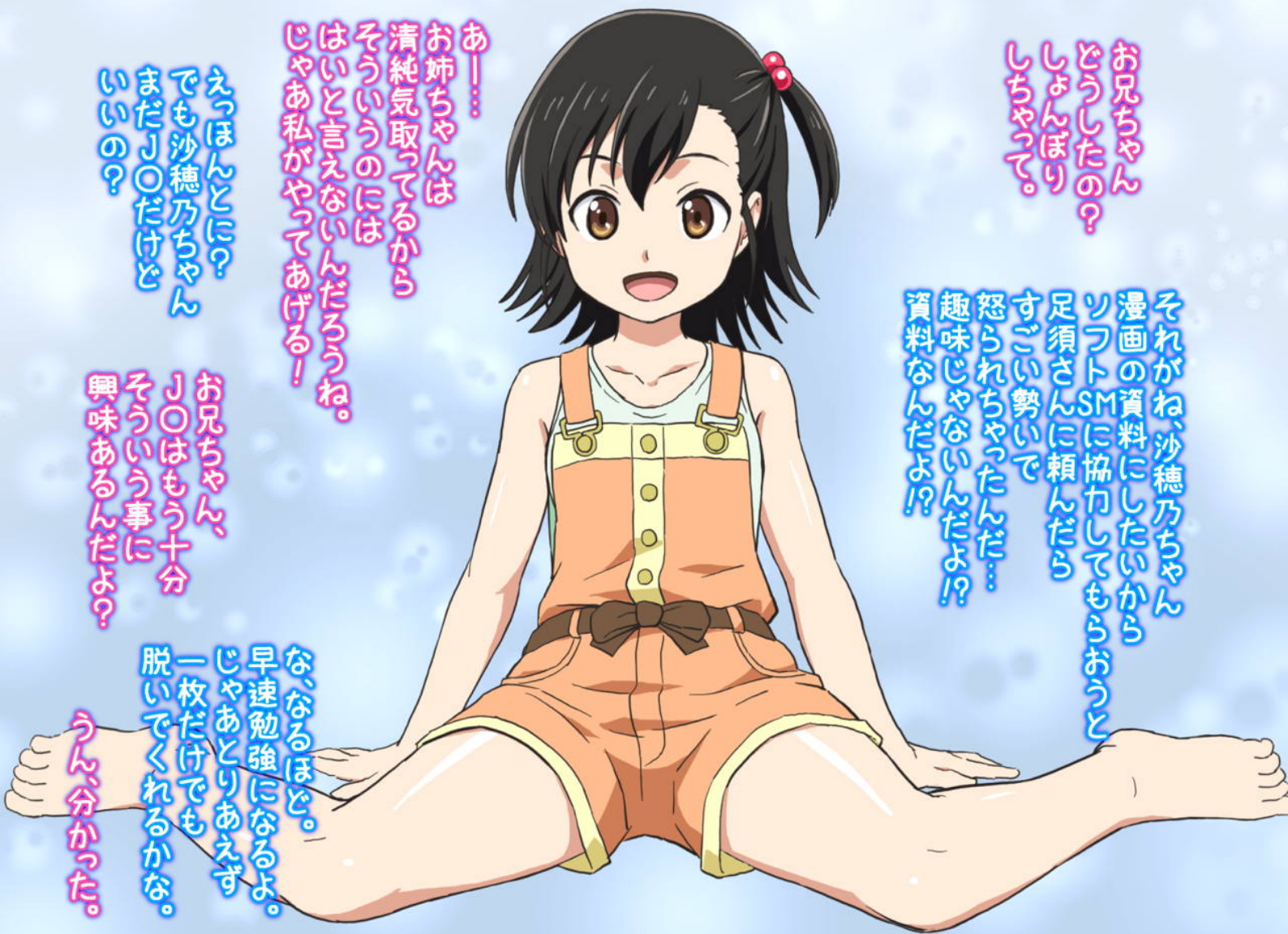
それがね、沙穂乃ちゃん
漫画の資料にしたいから
ソフトSMに協力してもらおうと
足須さんに頼んだら
すごい勢いで
怒られちゃったんだ…
趣味じゃないんだよ！
資料なんだよ！

あ…
お姉ちゃんは
清純気取ってるから
そういうのには
はいと言えないんだらうね。
じゃあ私がやってあげる！

えっほんとに？
でも沙穂乃ちゃん
まだJOだけと
いいの？

お兄ちゃん、
JOはもう十分
そういう事に
興味あるんだよ？

な、なるほど。
早速勉強になるよ。
じゃあとりあえず
一枚だけでも
脱いでくれるかな。
うん、分かった。



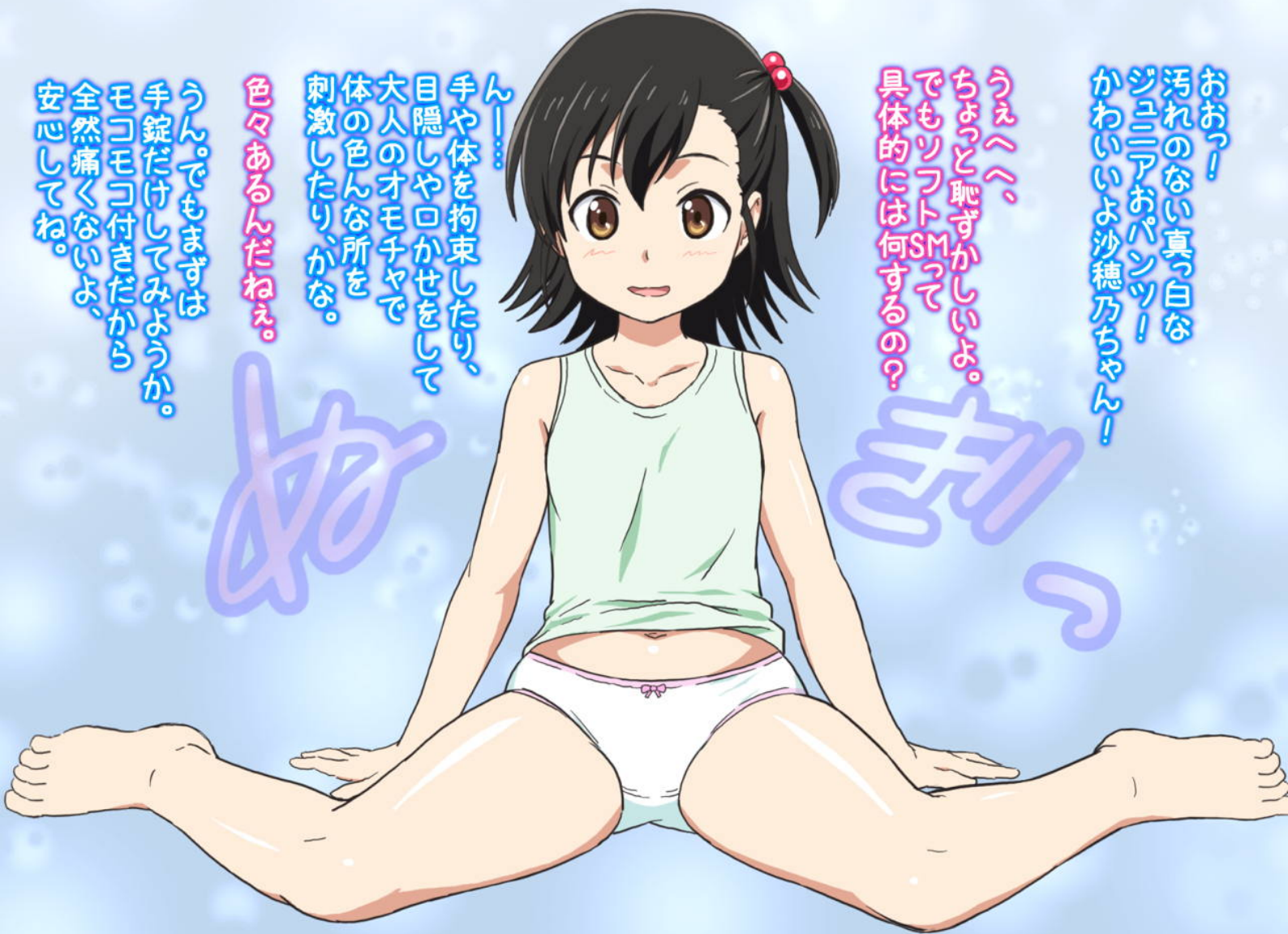
おおっ！
汚れない真っ白な
ジューニアおパンツ！
かわいいよ沙穂乃ちゃん！

うえへへ、
ちよっと恥ずかしいよ。
でもソフトSMって
具体的には何するの？

ん…
手や体を拘束したり、
目隠しや口かせをして
大人のオモチャで
体の色んな所を
刺激したりかな。

色々あるんだねえ。

うん。でもまずは
手錠だけしてみようか。
モコモコ付きだから
全然痛くないよ、
安心してね。

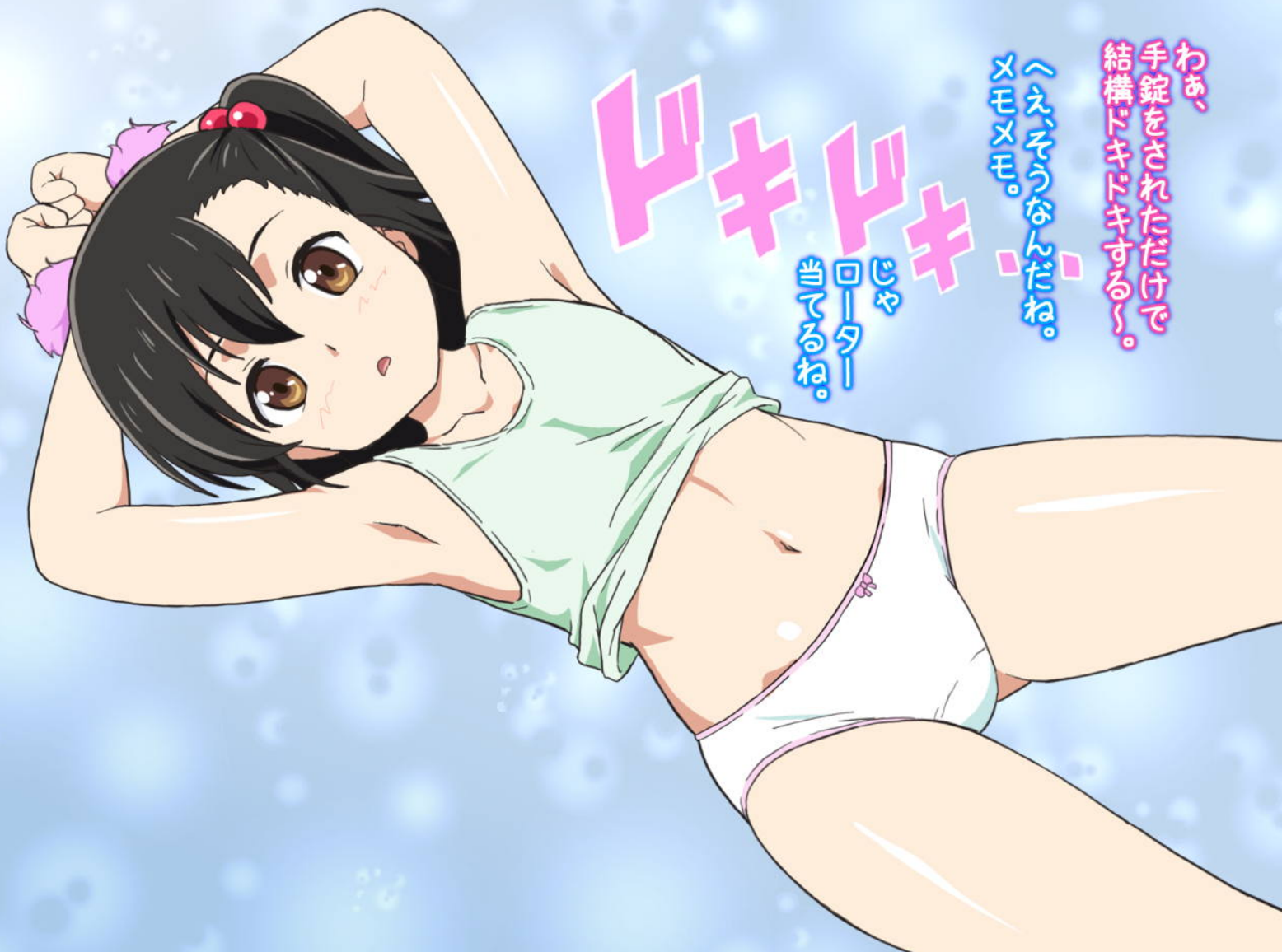


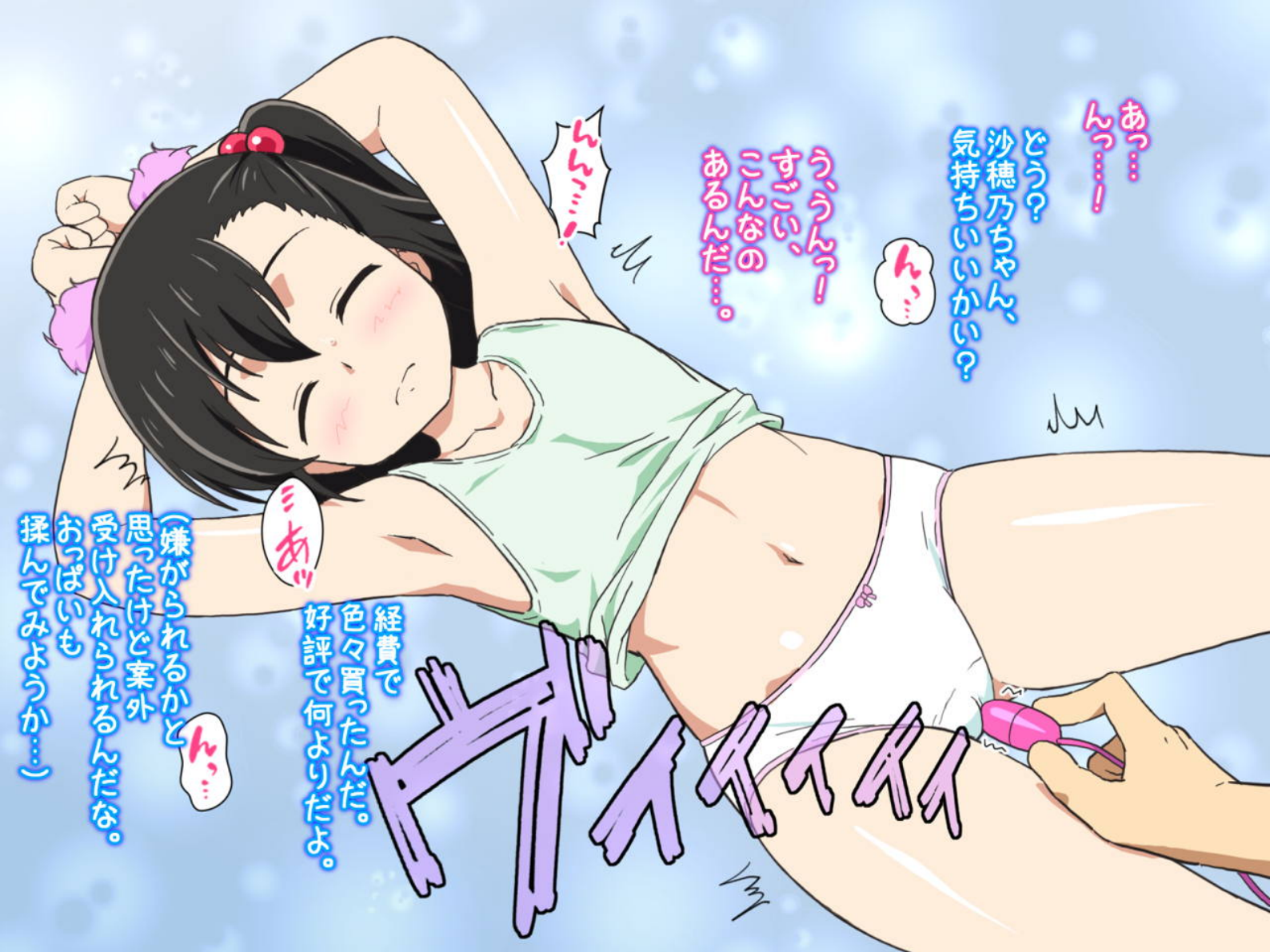
わあ、
手錠をされただけで
結構ドキドキするよ。

へえ、そうなんだね。
メモメモ。

ドキドキ

じゃ
ローター
当てるね。





あっ...
んっ...!

どう?
沙穂乃ちゃん、
気持ちいいかい?

んっ...

う、うんっ!
すごい、
こんなの
あるんだ!。

んっ...!

んっ...!

経費で
色々買ったんだ。
好評で何よりだよ。

(嫌がられるかと
思ったけど案外
受け入れられるんだな。
おっぱいも
揉んでみようか...)

んっ...

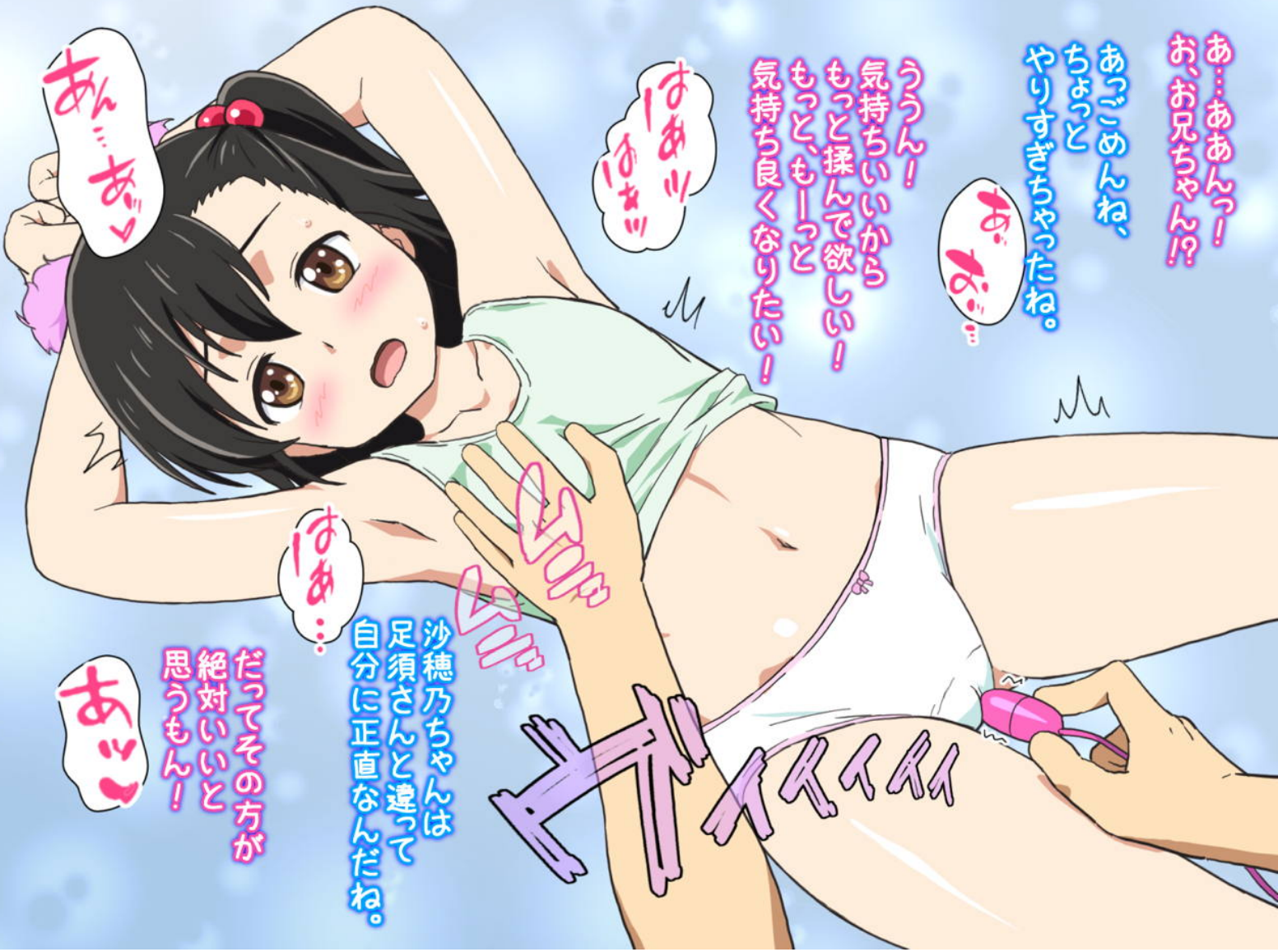
あ…ああんっ！
お、お兄ちゃん！

あつごめんね、
ちよっと
やりすぎちゃったね。

あ…あ…

ううん！
気持ちいいから
もっと揉んで欲しい！
もっと、もっと
気持ち良くなりたい！

あ…あ…
あ…あ…



あ…あ…

沙穂乃ちゃんは
足須さんと違って
自分に正直なんだね。

だってその方が
絶対いいと
思うもん！

あ…あ…

あ…あ…

あ…あ…

ね、お兄ちゃん
もっと
良く触って、
私の
敏感な所…。

いし
ドキ
ドキ

プリン

うん、分かったよ。
(沙穂乃ちゃんの
乗り気に
しっかり
応えなきやな)





あっ…
いいっ…

あっ…
おっ…

んっ…
…あっあっ…
んっ…

んっ…
んっ…

んっ…

むむむっ

(ああ、
女の子の下半身は
どうしてこう
エッチなんだ…)

むに
むに

(…うっ
まずい、
欲情してきた…)

セックス
したいんでしょ？
私もだから…
しよ？

えっ？
いいっ…

…お兄ちゃん、
いいよ。

んっ…
んっ…

あっ…
あっ…

いや、
でも…



ほら
お兄ちゃん…
私もう
待てないよ…

ぬき
ぬき

くうっ、
年下の女の子に
ここまでしてもらって
据え膳食わぬは
男の恥だ！

よし、
沙穂乃ちゃん
セックスしよう！
でもその前に
指を入れて
様子を見てみようね。

ハァァァ

ハァァァ

ハァァァ

ハァァァ



んっ…あっ！
くううっ…！

あ
んっ！！

んっ…

びくん

ああ、
沙穂乃ちゃんの（ん）
キツキツだね。

うう…じゃあ
セックスできないの？

このままだと
辛いんじゃないかな。
もっと広げたり
濡れたりしてから
じゃないと…。

だったらさ、
ちゅーしよ？
大人のちゅー。
そうしたらきつと…。

…えっ？
あっ！沙穂乃ちゃんっ…！

はッ

びくん

んっ…



んっ…んもっ…
んんっ…!
ちゅっ…んっ…!

(なんて
積極的なんだ…
足須さんにも
見習って欲しい…)

(いや、今は
足須さんより
沙穂乃ちゃんのことを
考えよう。
沙穂乃ちゃんに
最大限悦んで
もらえるように
頑張るんだ)

ぎゅっ

ちゅっ♡

ちゅ♡

むゅ♡

ちゅっ

ちゅ♡

ちゅ♡

すごいね沙穂乃ちゃん、
もうこんな
トロトロになってる。

だって
めちゃくちゃ
気持ち良かったんだもん。
これなら
入れてくれても
大丈夫だよね。

んんん...

うん、
よく頑張ったね。

ハ
ハ
ハ

ハ
ハ
ハ



お兄ちゃん、
分かってると思うけど
初めてだから
優しくしてね。

はあ

はあ

う、うん
分かってるよ。

どきどき

(まさか
足須さんより先に
沙穂乃ちゃんと
やる事になるとは...)





うあぁ...

うっ...!

くっくっ...

うっ...
んんん...!
うっ...!

大丈夫？
痛くない？

だんっ...
だ、大丈夫...
いいよ、動いて...

あぁぁぁ

ズ

ずんずん...
ずんずん...



あっ...ああっ...!!
うぐっ...!!

あんっ!!

くうっ...
沙穂乃ちゃん...
すごい締め付けだねっ...!

あ...!!

お、お兄ちゃんのおちんちんも意外とたくましくって...
ああんっ!

(い、意外...?)
まあいいか!

あ...!!

ああ…
沙穂乃ちゃんの
桃みたいなお尻
プニツプニだね

あっ…んっ…
は、恥ずかしい…

やめて欲しいかい？

ううん、
だって
揉まれるの
気持ちいいから…
あん？

なるほど、
気持ちよさは
恥ずかしさに
勝るんだね。

それじゃあ
もっと
気持ち良く
してあげる。
それ？

プニツ

プニツ

あ…あ…

んっっ

はっ…はっ…

んっ





あっ
あっ
あっ
あっ
あっ

あん
あん
あん

あん
あん

あん
あん

あん
あん

あん
あん

あん
あん

あん
あん

あっ

あっ

あっ

あっ
あっ
あっ

あっ

んっああっ！
す、すごいよ
お兄ちゃんっ！
お、おかしく
なっちゃううっ！
あっ…
ああっ…！

あぁっ…
イイク…
お兄ちゃん、
私イきそうだよー

うーん

あ、そうなんだね。

じゃあせっかく
上に乗ってもらったところ悪いけど、
僕もラストスパート
かけたいから
降りてもらえるかい？
中に出しちゃうとまずらっつ

はっ！

くちゅん

いいよ、
お兄ちゃん
そのまま…出して！

あめ

ええっ？でも…

出して
ほしいの、
お願い…

うん

…わ、分かったよ
沙穂乃ちゃん。
出すよ…！





は...は...

あ...あ...あ...
あ...あ...あ...

は...は...は...

あ...あ...あ...

あ...あ...あ...
あ...あ...あ...

あ...あ...あ...
あ...あ...あ...

...お兄ちゃんの
精液...!!
う...う...
あ...あ...あ...!!

あ...あ...あ...
あ...あ...あ...

あ...あ...あ...
あ...あ...あ...
あ...あ...あ...
あ...あ...あ...
あ...あ...あ...

はあ...はあ...
中に出されるのって
こんな感じなんだ...
何だかソクソクする...

はあ

ビクビク

はあ

そこんどこ、
是非詳しく
聞きたいけど...
その前に
お風呂入って
休憩しようか。

はあ

休憩？

：んー

まあいいか。

はあ

はあ

そうだ、元々
お風呂入る
つもりだったから
今日もあれ
持ってきてるんだよ。

はあ

はあ

あれ？
：あ！
あれって
もしかして！

そう！

ビクビク

ビクビク

ビクビク



じゃーん、
スク水です。

相変わらず
素晴らしく
似合ってるね、
沙穂乃ちゃん！

しかしスク水かあ…
いいよな、スク水…
触ってみたい…

いいよ、触っても。

えっ!?

ど、どうして
考えていることが
分かるの!?

いや
声に出してたし…
まあお兄ちゃんは
素直だから
声出さなくても
分かったけどね。

うう…
思考筒抜けか…。
じゃあお言葉に甘えて
触らせてもらいます！

1-3
足 須

んっ…
んっ…
んっ…

ふむふむ、これが
スク水の手触りか…
女の子が着ている状態で
触るのは初めてだよ。

あ…

あっ

むに
むに

でも
ちよっとは趣味も
入ってるんだよね。

あー、
着てないのは
触ったことあるんだ。

むにっ
むにっ

もももちろん
資料としてだよ！

…はい。

ほんと
素直だね！



そういやお兄ちゃんは
お姉ちゃんとは
何回セックスしたの？

ええっ？
してないしてない！
1回もしてないよ！

えっ？
一つ屋根の下に
二人っきりなのに？
お兄ちゃん
奥手すぎない？
押し倒しちやえば
いいのに。

そ、そんな事したら
足須さんに
嫌われちゃうよ！

今は嫌われてないの？

そりゃあもちろん！
嫌われてなんて…
ないと思うよ。

…多分…
おそらく…

あ…
お兄ちゃん
ごめんごめん
元気出して。
ほら、
脱いであげるから。

いっ！

もみもみ

1-3
足須

はあ…
沙穂乃ちゃんありがとう。
ちよっと元気出たよ。

んっ…んっ…
ねえ、お兄ちゃん
またソフトSMしない？
えっ？

さっきやったばかり
なのによいの？

あんな気持ちいい
ことだったら

何度でもやりたいよ。
休憩なんて
いらなくらいだったし。

そうなんだね。
僕としては
ありがたい限りだよ。

じゃあ早速
スク水脱ぐね。

…いいいや
待っただ
沙穂乃ちゃん!!
せっかくだから
スク水は
着たままやろう!

是非それで!
お願いしますっ!!

わ、びっくりした。
今日一番の大声…
そこそんなに大事なんだ。
わかったよお兄ちゃん。

モロモロ

ムニムニ



ああ、
スク水にくっつきり
浮かんたぶくまん…

エツ千だよ
沙穂乃ちゃん。

うっ…

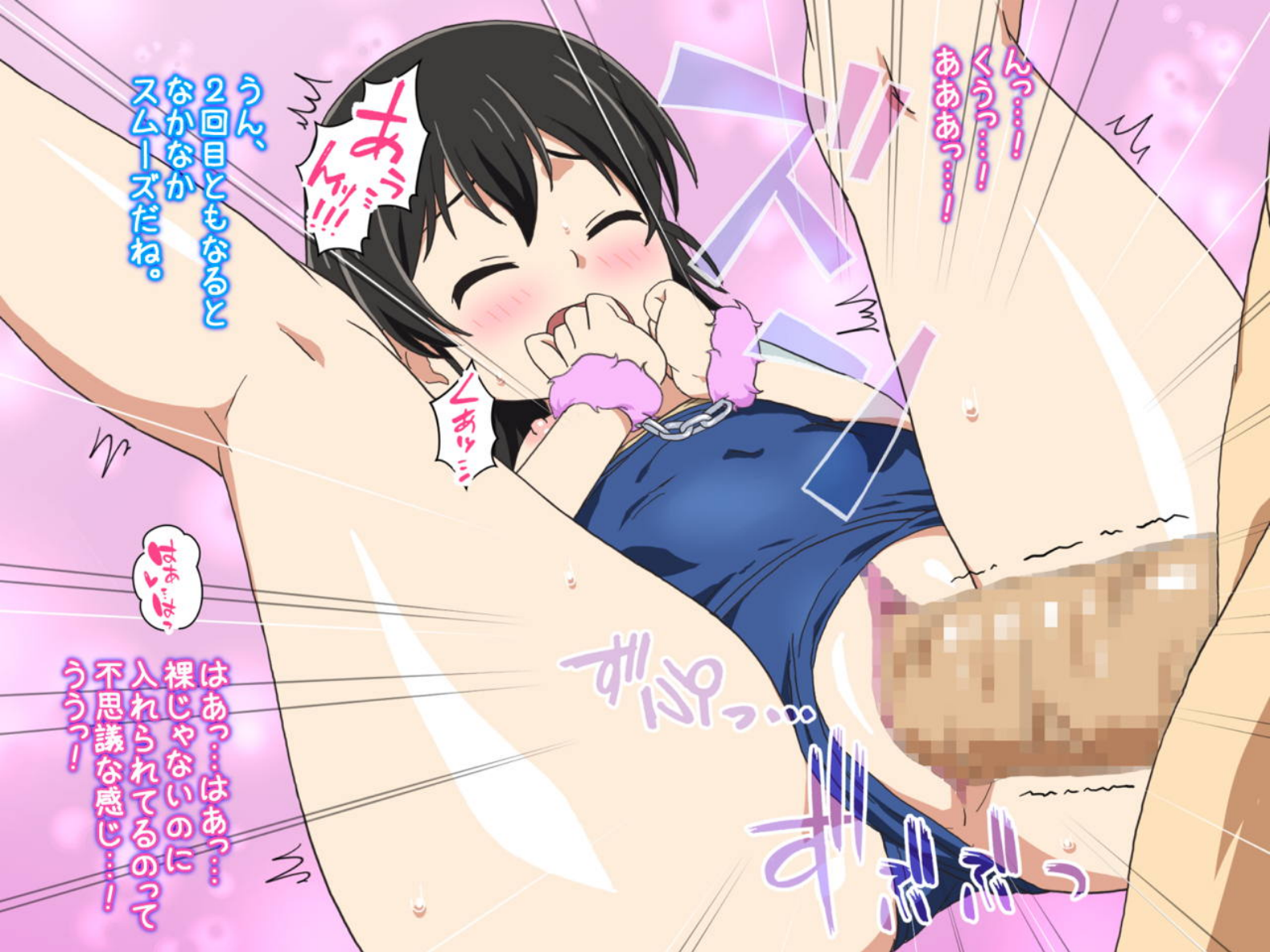
スク水着てるとは言え
まじまじと股間を
見つめられるのは
恥ずかしいな…

ハキ
ハキ

もう入れちゃっても
大丈夫かい？
もっと揉んだ方がいい？
さっきやってくれたから
いいよ、いつでも。

よし、じゃあ
入れるね…





うん、
2回目ともなると
なかなか
スムーズだね。

んっ…
くっ…
ああっ…

あうっ!!!
くっ!!!

たか
たか

はあっ…はあっ…
裸じゃないのに
入れられてるのって
不思議な感じ…
うっ!

あうっ…
あうっ…

ズラし挿入だと
さっきよりも
興奮したり
するかい？

うっ…
わ、わかんない…

あ…あ…

結局
気持ちいいから
わかんないよう！
ごめんね
お兄ちゃんっ…！

あ…あ…

ゴウッ

ゴウッ

あ…あ…

そっか。
いや、それはそれで
参考になる意見だよ。
ありがとうね
沙穂乃ちゃん。





あぁっ……！
んんっ……

あつごめん、
痛かった？

んっ……全然
大丈夫だから……
続けて……
あっ……あぁんっ！

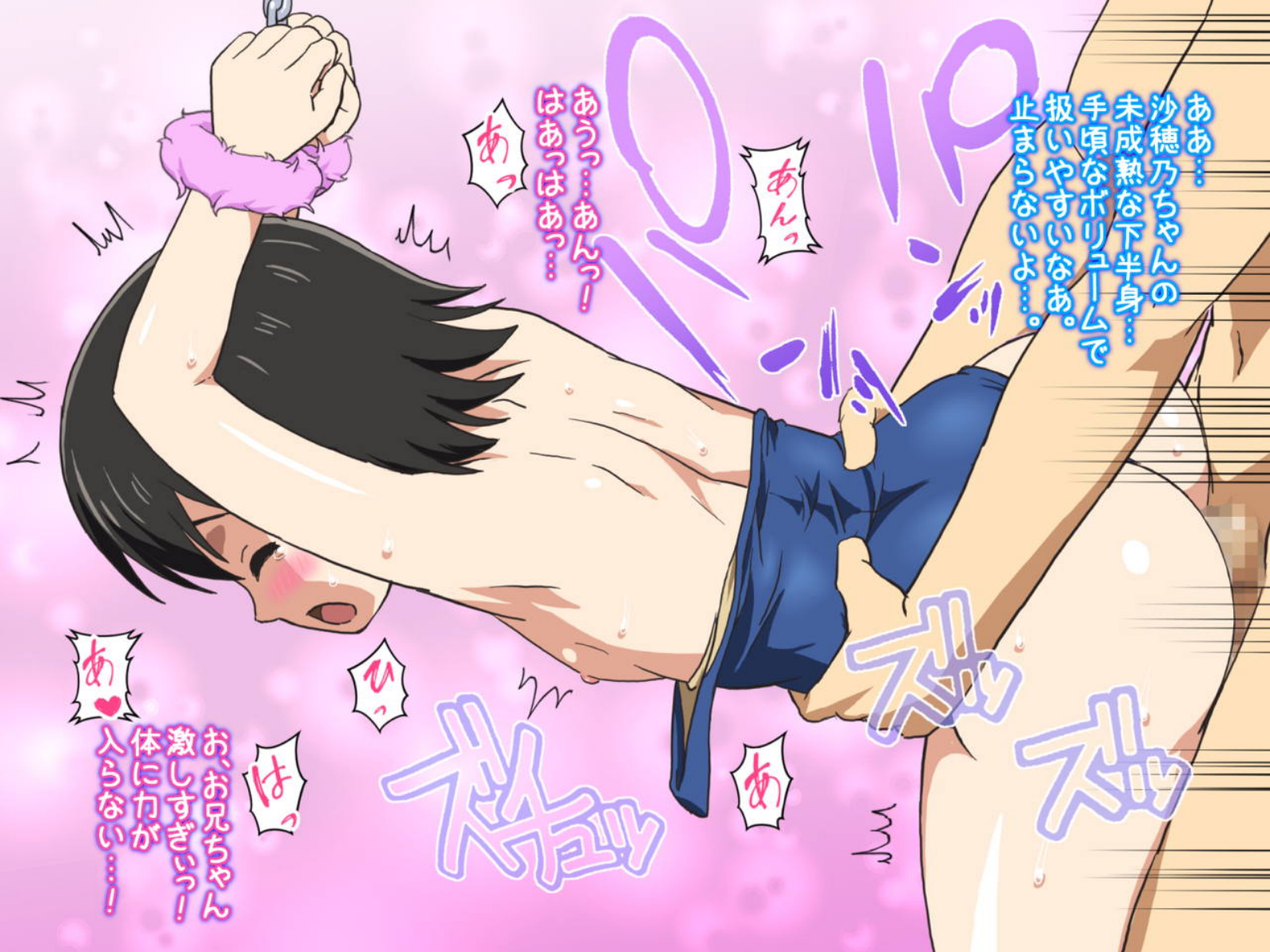
あぁっ

あぁっ

ぐっ

ぐっ

あぁっ



ああ…
沙穂乃ちゃんの
未成熟な下半身…
手頃なポリウレタンで
扱いやすいなあ。
止まらないよ…。

あんっ

あうっ…あんっ！
はあっはあっ…

あっ

あ
あ
あ

あ

ひっ

はっ

あ

あ、お兄ちゃん
激しすぎっ！
体に力が
入らない…！

沙穂乃ちゃん
大丈夫？
もうやめておくかい？

ハッハッ

ハッハッ

んん...

ここで
やめるなんて
ないよ...
最後まで付き合っ
て、お兄ちゃん...

分かったよ。
じゃあ続けるね。

あああんっ！
いいいいっ！
気持ちいいよあっ！

腕をつかまれて
無理矢理
やられてる感じで
興奮するっ！

すっ

すっ

あん...あん...

お、おおっ...
沙穂乃ちゃん、
赤裸々に
感想を言ってくれるね。
いやらしくていいよ。

うっ...
そんな事言ったって
気持ち良すぎるのが
いけないんだよっ...
んっああっ...！

スッサ

はあっはあっ...
お、お兄ちゃん...
私もう駄目...
限界だよっ...!

うっ...!

あん!!

あっ

あ...!

実は僕もなんだ。
二人で仲良く
イこうね。

ぬ...!

あ♡

スッサ

ガッぽっ

んっ

んっ





はあっ...!!
ああ...!!
くうんっ...!!

さ、沙穂乃ちゃんのお体...
き、気持ちいいよっ!

私の方こそ...
あんっ!
い...い...
す...す...

ムニムニ

アッ

っ...

ああ...イイくっ...
イっちやうくっくっ!!

ギョギョ

きんきん

ムニムニ...

アッ!!

おほおほ
おほおほ



うっ……！
はああっ……！
ああああっ！！

あ……

で……
出てるうっ！！

あああ……！
あっ……あ……

はああ……！！

あ……

はあ……

あ……

はあ……



はあっはあっ...
お姉ちゃんよりも先に
2回も中出し
してもらっちゃった...♡

お疲れ様、沙穂乃ちゃん。
お兄ちゃんも...
うん...♡

はっ...
はっ...

これでマンガが
より面白く
なるといいね...あ...♡

はっ...
うんっ!
協力してくれた
沙穂乃ちゃん
のためにも
僕頑張るよ!

ひゅん
ひゅん

はっ...
はっ...

次の日、僕は足須さんに怒られていた。

沙穂乃とやったそうですね。
何考えてるんですか、あの娘はまだJ.O.ですよ。

でもね足須さん！

沙穂乃ちゃん

とっても悦んでたよ！

…そういう話をしてるんじゃないやありません。
このまま踏み潰して欲しいんですか。

いやだあぁっ！…あっ、でも
足須さんのニーソ足に
潰されるなら本望かも…。

あぁっ

あっ…

あ♡

…ド変態の先生には
どうやら
逆効果のようですね。
分かりました、
それならこうしましゅ。



ええっ!?
あ、足須さん!?
今日はそんなエッチな
パンツだったんだね...。
普段清纯ぶってる
足須さんとのギャップが
堪らないよ!

誰が清纯ぶってるですか。
あとパンツの感想は
聞いていません。

それより、
もしこのまま
イかずには我慢できたら
私とやらせてあげても
いいですよ。
どうです先生?

ほ、ほんとに!?
いやったああああ!
足須さんと
やるためだったら
僕はどんなことにも
耐えられるよ!

へへえ、
どんなことにも
ねえ...。
それは楽しみです。

よいしょと。

あつ足須さんの
柔らかい生尻がっ…!

何だかごっつごっつした
肉クッションですね。
お尻の収まりが悪いです。

あっあっ…そんなっ
動いたら…
あっ…お尻の谷間に
挟み込まれて…
おふうっ!!

(だ、駄目だ…
このままでは
あっという間に
イってしまっぞ!!
耐えろ…耐えるんだ…!!)

あらあら、
意外と頑張りますね。
それじゃ
こんなのはどうです?



踏まれて
喜ぶくらいですから
こういうのも
嬉しいんじゃないですか？

う、うおおっ……！

あはっ、やっぱり。
ギンギンじゃないですか。

(足須さんの
ニーソで足コキ……
それだけでも
破壊力抜群なのに
あんなエロ下着を
見せつけられては……)

まあ、
いやらしい目で
どこを見てるんだか。



ここですか？
そんなにここが
気になりますか？
目力だけで
妊娠させられそう…
ああ怖い怖い。



くうくうくう！
見たいけど
見ちゃ駄目だ！
見てたら
イってしまう！

ふーん、
目をつぶりましたか。
でもいいんですか？
その方が想像力を
かき立てられる
という事もありますよ？



…んぷっ!!
(…この感触は
まさか…!)

これなら先生に
見られる心配がないし
パンツ
脱いじゃおうかな!

んぷっ!!

んぷっ!!

な…んて、
脱ぎませんけど。
でも想像しましたね?
もう我慢の限界じゃ
ないですか?
案になったらどうするの?

(案に…)
そうだ、足須さんに
ここまで

してもらったんだ、
何の悔いも無い。
もう射精して…!

ふっっ!!

んぷっ!!

んぷっ!!

んぷっ!!

んぷっ!!

(…いや駄目だ駄目だ!!
僕は足須さんと
やるんだー!!)

ああん

んぷっ!!

んぷっ!!





根性見せませすねえ。
普段の先生とは
別人みたい。

こんなに
ドクドクと
脈打って
爆発寸前だ
というのに。

ああっ！
近い、近いよ
足須さん！

ワッ
ワッ

キラキラ
キラキラ
キラキラ

フーっ

モロモロ
モロモロ
モロモロ

あひっ！

ふふ、

ちろっと舐めたくらいで
すごい悶えよう…

じゃあ

啜えてしごいたら

どうなっちゃう

んでしょうねえ。

(そんなの…)

耐えられるわけが…!!)

でも安心して下さい

そんな事しませんよ。

先生の特濃ザーメンで

口を汚されるなんて

まっぴらですから。

(良かった…)

いや良くないのか？

ああ、僕は一体

どうされたいんだ！)

(ああ…やっぱ)

先生をいじめるのって
楽しい！)

あ

あ

おんぱん♡

370370

(でもこれ以上

耐えられても

困るからいい加減

果ててもらおうかな)

あ

あ

ふう、慣れないことを
したからか
体が火照ってきました。
ああ熱い熱い。

(み、見えた！
足須さんのブラジャー!!
それにパンツ越しの割れ目が
僕のおちんちんを…
うぐうう!!)

フフフ

あらあら、
イくんですか？
私とやりたく
ないんですか？

やりたいよあつ!!
…やりたいけど…
足須さんのパンツ…
足須さんの…
う、うおおっ!!



後日

あ、足須さん!?
ど、どうしちゃったの
その格好?

先日その…
仮にもお世話になってる
先生に対して
ちよつと調子に
乗り過ぎちゃったか…
そのお詫びに以前…

以前足須さんが
破り捨てた本の表紙で
足須さんそっくりの
モデルさんが着ていた
ビキニだね!

…そ、その通りです。
よく覚えてましたね…。

うん、とっても
シヨックだったからね!

…重ね重ね、すみません。

それでその…
少しくらいなら
ソフトSMにも
付き合っただけよかと…。

えっほんとう?
嬉しいよ足須さん!

少しですよ、
少しだけですからね。
分かってるって!
じゃ、はいいれ。



ああ…目隠しですか。

(まあ(1)のくらいなら…)

んじや、とりあえず
胸を揉ませて
もらうね。

あ…

え…、ええええっ!?

駄目?
やっぱり
駄目だよねえ…
はーあ…

んじや…

あ、えっと…
いいいですよー!
どうせ
先生に触られるのは
初めてじゃないですし。

いいの!?
ありがとう!



でもまさか
足須さんが
こんなに協力的に
なってくれるとは
思わなかったよ。

まあ…
泣くほど
みじめな思いを
させてしまった
お詫びですから…

みじめ？
何のこと？

え？
だって先生

あんなに
泣いてたじゃ
ないですか。

あ…

うん。
だってほら、
僕って

パンツが何よりも
大好きじゃない？

知りませんよ！
知ってますけど。

でき、
脱いだパンツで
しごくのは
やろうと思えば
出来るけど…

それは
下着泥棒ですよ！
ああもう
突っ込み忙しい！

ん…

も
も

も
も

履いたパンツで
おちんちんこすってもらおう
なんて経験は
一生ないんだろうなと
思っていたから
嬉しくて嬉しくて。

うん、

嬉し泣きだよ！

ソフトSMの
気持ち良さも
体で理解出来たし
感謝感謝だよ。

ええええええ！
それなら私が
罪の意識を
感じる必要なんて
なかったのでは…。
あのっ先生！
もうやめても…

そうだ、
沙穂乃ちゃんには
試さないグッズが
あるんだ。
それを足須さんに
お願いしようかな。
えっ!? いや、あの、
ちょっと待って下さい！
ああ…！

じゃあ
泣いてたのは…

ふう、
これで
よしっと。

んー！

さすがに
沙穂乃ちゃんには
ここまで
出来なかったんだけど、
足須さんは大人だから
平気だよね。

(平気じゃありません！
ソフトSMに付き合うのは
少しだけって
言ったじゃないですか！)

んー？
ええっと、これ
電源スイッチは
どこだっけ…
あ、(ここ)か。

(聞いて下さい！
先生っ！)



(はあっはあっ...今度は一体何を...)

これはさすがに
自分では試して
いないから
後で感想聞かせてね。
それじゃあ失礼します...

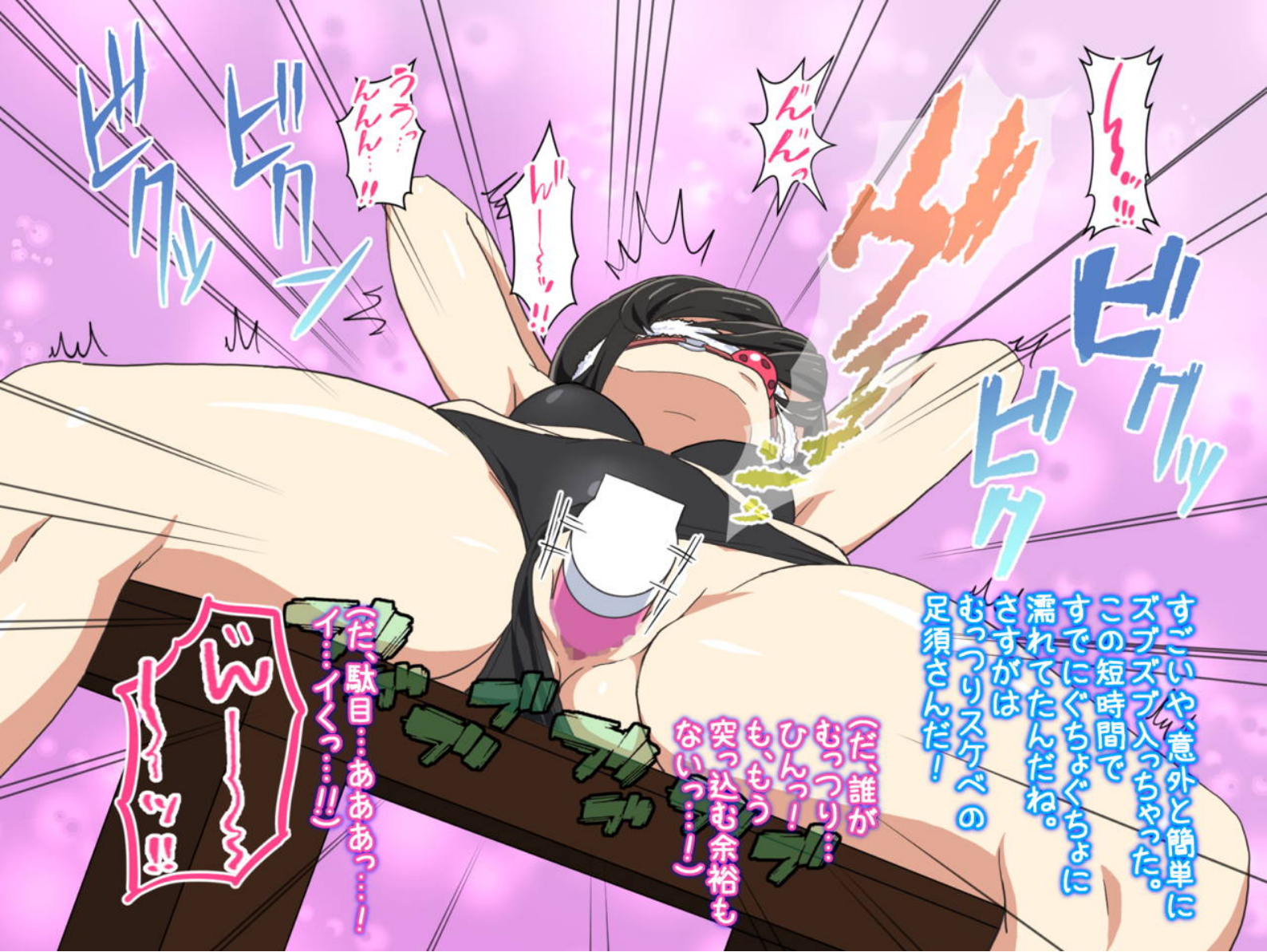
ふー！

うっ！

うっ！

ふー！

(えっ!?)
やだっ嘘っ!?
ひっ...んっ...!!



すごいや、意外と簡単に
ズブズブ入っちゃった。
この短時間で
すでにぐちよぐちよに
濡れてたんだね。
さすがは
もっつりスケベの
足須さんだ！

(だ、誰が
もっつり…
ひんっ！
も、もう
突っ込む余裕も
ないっ…！)

(だ、駄目…あああっ…！
イ…イ…くっ…！！)

んんん
んんん
んんん

んんん
んんん
んんん

んんん

んんん
んんん
んんん



あれ？足須さん
もしかして
もういつちやったの？
パイプは
そこまで効くのか…
参考になるなあ。

（ほ、本当にすごかった…
パイプだけじゃない、
拘束や目隠しのお
おかげでもあるかも…
ソフトSMって結構…）

でもきつとまだ物足りないよね。
僕としても
もっとテータを取りたいし。
うん、どうしようか…。

そうだ、
もう裸に
なっちゃおうか。
うん、それがいいな。
（……え？
えええっ!?）

アッ

アッ

ん…

ハッパッ



(…っ!?)
いいやあぁっ…!!
見ないで下さいっ!!

んんっ!?

アキッ

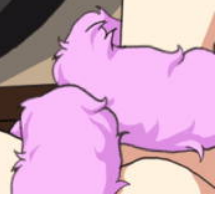
する)...

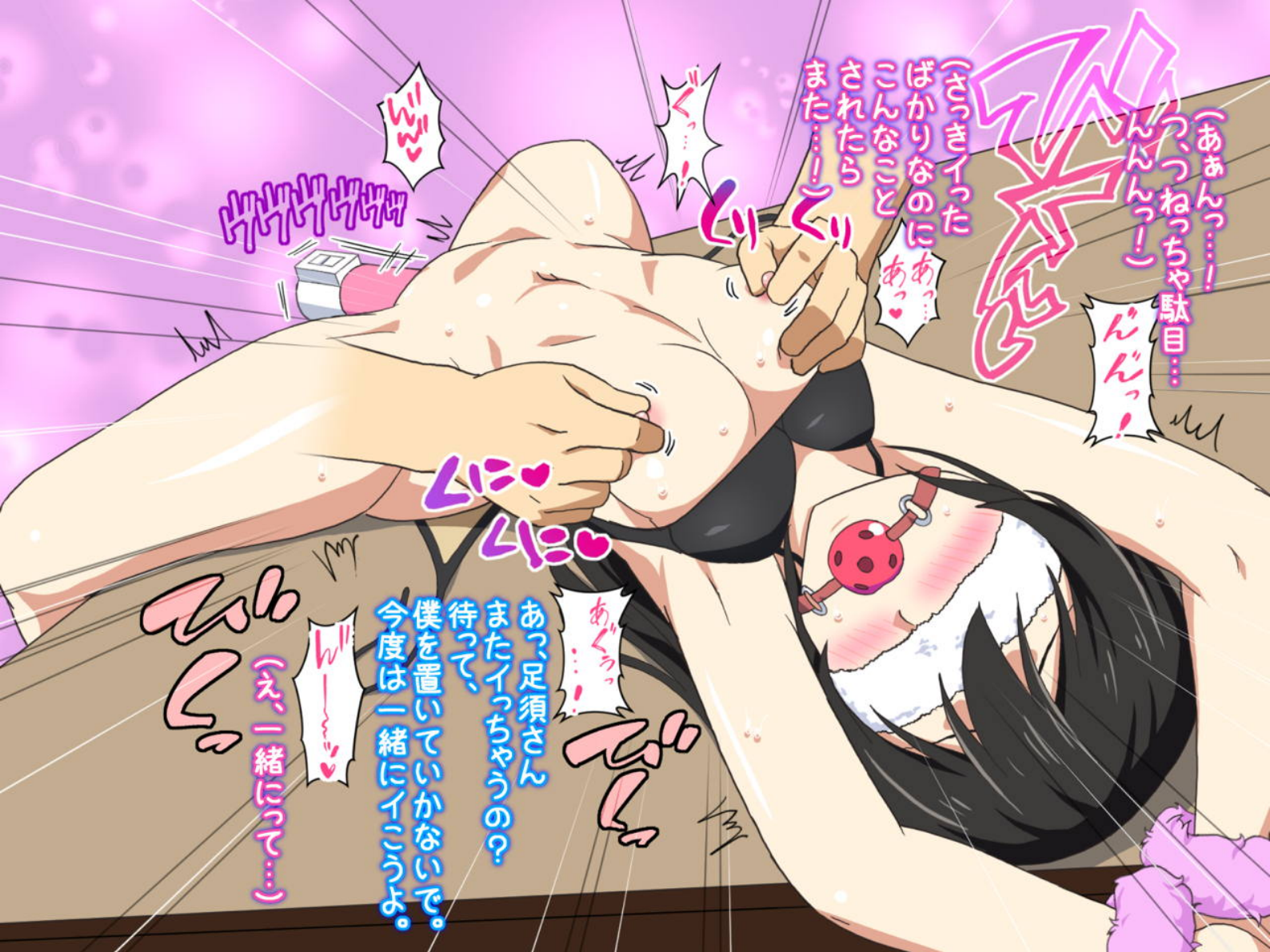
んんん

んん!!

んん!!

ああ、バサッ
足須さんの
生まれたままの姿…
なんてエッチなんだ。
触らずにはいられない!





（あま〜っ！
っねっちや駄目…
んんん！）
んんん！

（さっきいった
ばかりなのにあ？
こんなことあ？
されたら
また…！）

に♡
に♡

あ〜っ
あ〜っ
あつ、足須さん
またイっっちゃうの？
待って、
僕を置いていかないで。
今度は一緒にイこうよ。

んんん！
（え、一緒にっ…）



カカカカ

んん!!



んん!!

いいよね足須さん。
必ず満足させて
あげるから。ね?

ううっ!

(そ、そんな...
待って下さい!
先生えっ!!)



よし、先生よりも
パイプの方が良かったなんて
言わないように
僕頑張っちゃうからね！

くっくっく...
うっく...

ああっ入った...
入ったよ足須さん...

んんん...
んんん...

△あッッ

んんん!!!

くっ...

わ
...
!!

んんん!!!



(あんっ！あっ！あっ！あっ！)
そ、そんなっ！
き、気持ちいいっ！

ググッ？

んっ♡

ググッ？

もみもみ♡

あ…あん♡

んっ♡
んっ♡

(まさか
先生に犯されるのが
こんなにも…うっ…！
うっ…！んっ…！！)

んっ…

んっ…
んっ…

んっ…

んっ…



（あ…あああ…
中に…出されてる…
先生の…精液が…）

はー、すごく良かったよ足須さん。
思わず夢中になっちゃった。
それじゃあ拘束を解いてあげるね。

ふう…ふう…
はぁ…はぁ…
ふう…

あ、苦しそうだから
先にギャグボールを
外そうか。

あぐ…
んん…
ぶはっ！

わっ、口の中が
唾液で溢れてるよ。
…そうだ、
最後に一つ
お願いしていいかな？

セッ

セッ

んんっー！
んぐっ…!!
ああ、いいよ足須さん…
きれいに掃除してね。

じゅわんっ
んんっ…！

はあ…足須さんの
かわいいお口で
舐め舐めしてもらえるなんて
僕はなんて幸せ者なんだ…。

んんっ…
んむっ…!!

しゅば
ゆ

ちほ
ちほ

んん…!!

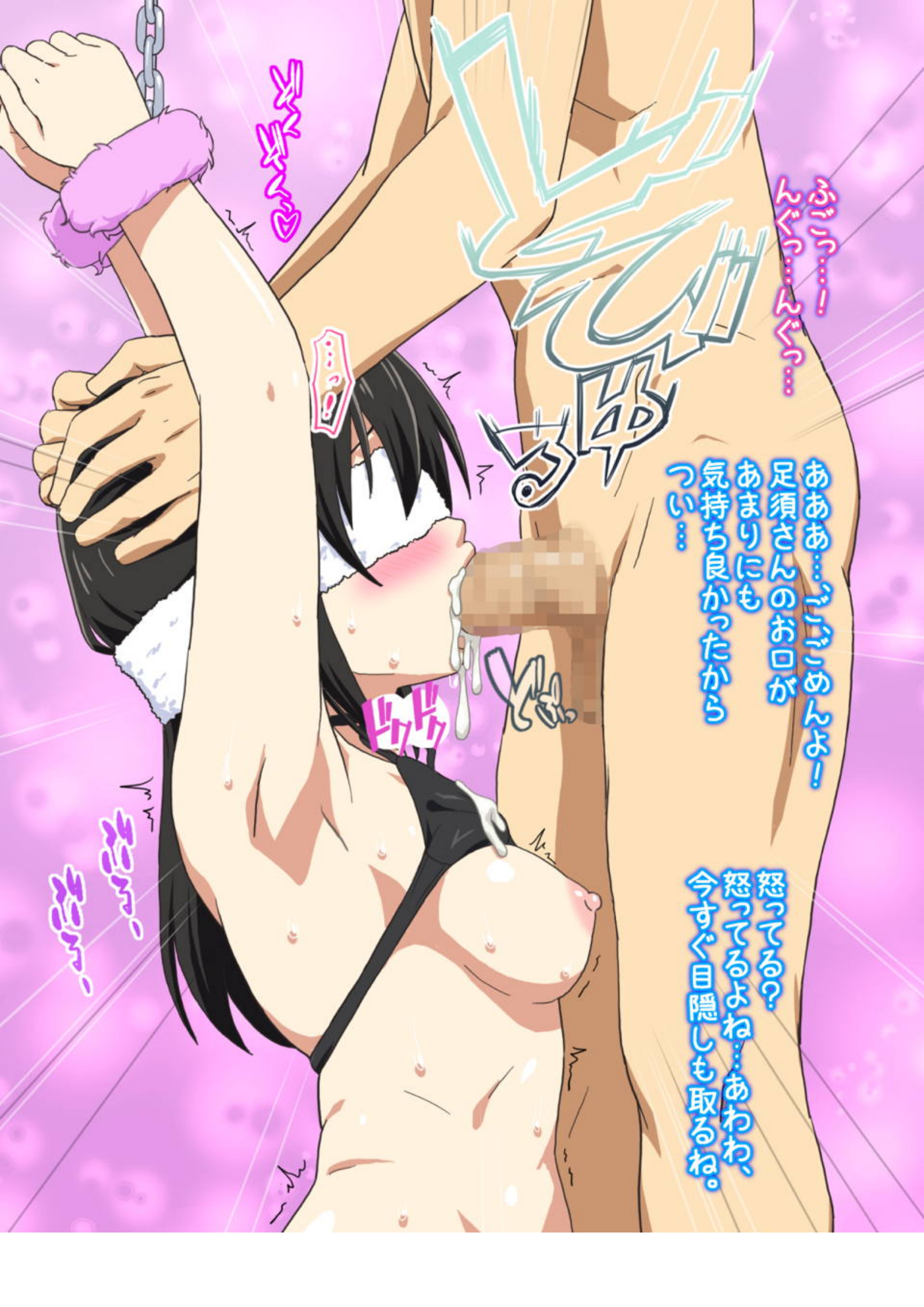
んん…!!

んんっ

…あ、あれ…
まずいな。
これじゃ
お掃除どころか…

んんっ!?

…ぐいめんー…
また出ちやうよ…



ぶっっっっ！
んぐっっんぐっっ...

あああ...ごごめんよ！
足須さんのお口が
あまりにも
気持ち良かったから
つい...

怒ってる？
怒ってるよね...あわわ、
今すぐ目隠しも取るね。

ズズズ

...

ドクドク

...



だ、大丈夫
足須さん!?

はあっ...はあっ...

あ...

ああ...

はあ...

あ...

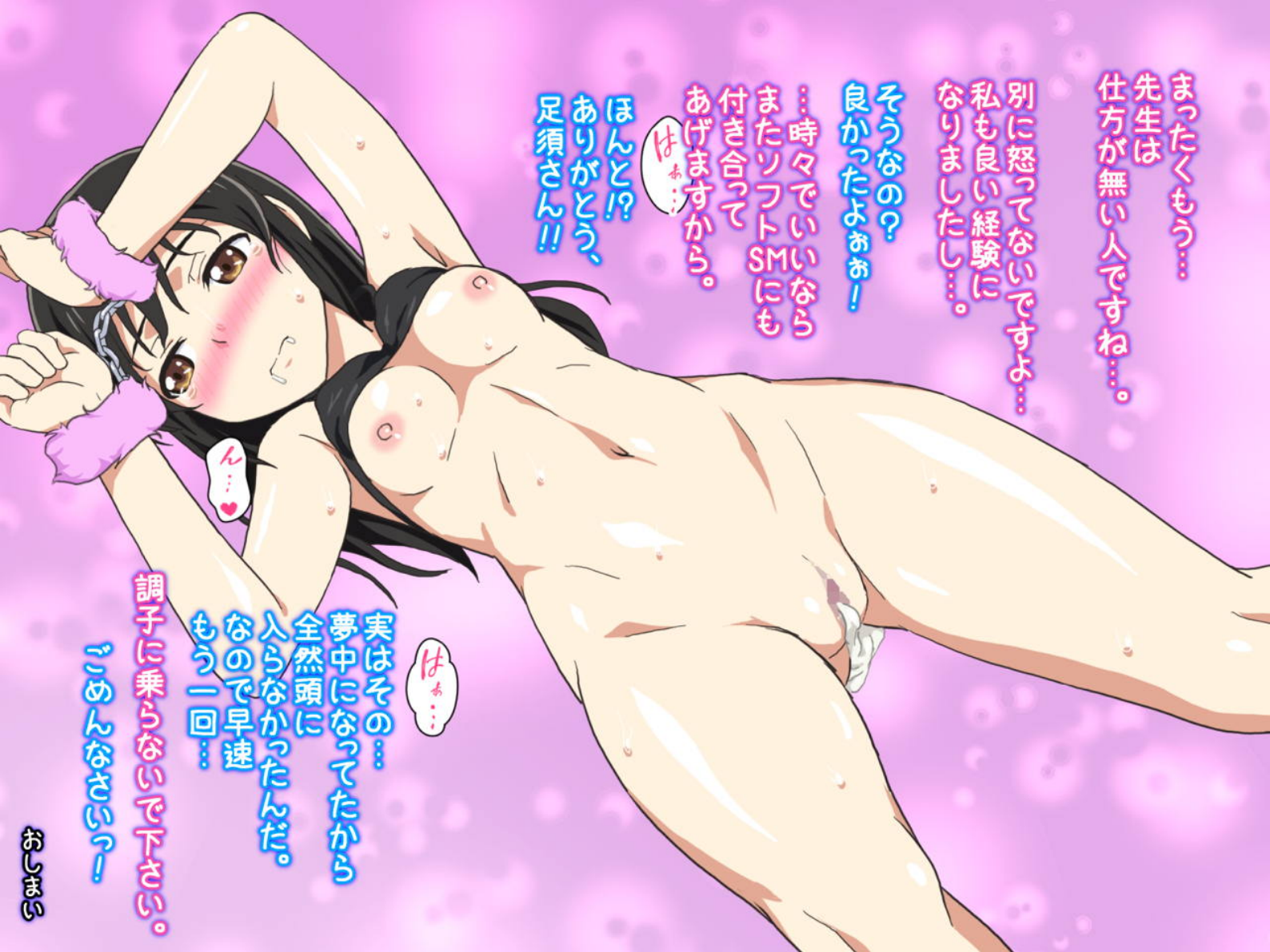
はあ...

ん...

わざとじゃな
かつたんだよ!
ほんただよ!
ごめんなさい、
ごめんなさい!!

ぐたあ





まったくもう…

先生は
仕方が無い人ですね…。

別に怒ってないですよ…

私も良い経験に
なりましたし…。

そうなの？

良かったよおお！

…時々でいいなら
またソフトSMにも
付き合っ
てあげますから。

はあ…

ほんと!?
ありがとう、
足須さん!!

はあ…

実はその…
夢中になってたから
全然頭に
入らなかつたんだ。
なので早速
もう一回…

調子に乗らないで下さら。

ごめんなさいっ！